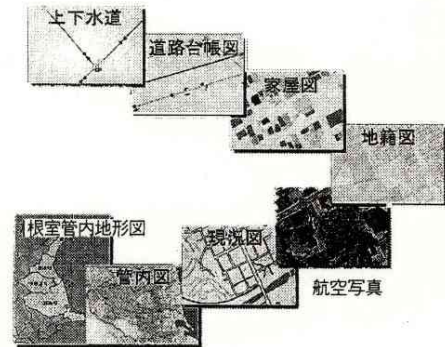


# 人と商品



(株)イソジェック(北海道)が開発した地理情報システムのレイヤ構造

## GIS

### 公共事業での測量実績生かし

二月二十八日から三日間、東京ビックサイトにおいて「中小企業ITフェア・二〇〇一経営革新ビジネススフェア」が開催されました。そこに、北海道の別海町からGIS(地理情報システム)を出展したのが、公共事業を主体に測量事業を営む(株)イソジェック(磯田忠雄社長、北海道同友会会員、☎〇一五三七一五〇三三三)です。

GISとは、地形図、航空写真、地籍図、現況図、家屋



磯田 忠雄氏

GISによって、道路やさまざまな施設・設備の工事や改修計画作成などが簡明・確実に行えます。

別海町は、北海道根室市に隣接する道東の町で、面積は千三百二十平方メートル。香川県に匹敵するほどの広大な土地に、約二万七千人の人間と十一年頭の牛が暮らしています。その一方で、先進的情報通信システムモデル都市構築事業や、遠隔医療推進モデル事業(一九九七年度、また、別海地区農業農村情報ネットワークシステム設置事業(九八年年度)の指定を受け、実施するなど、マルチメディアの導

入・活用には先進的に取り組んでいる町でもあります。

磯田社長は、「別海町こそ、GISに真っ先に取り組み、活用するべき町です。そして、町が、いつGISを導入しても対応できるように、準備をしておくことが、地域と共に生きる企業の務めだと考えています。最近では、公共事業に限らず、民間企業でも、さまざまなデータを組み合わせ、GISの活用事例が生まれつつあり、民間需要の今後にも期待しています」と明るく語っています。

<http://www.isojeck.com/>



不可欠」と、九五年に会員交流の場として始まった「同友トピア」のメンバーで、自動車の樹脂試作部品販売や空調設備メンテナンス、広告看板製作など、それぞれが違った専門分野を持つ企業が参加しています。

## 夢を形 いよいよ市場

異業種11社で(株)ドゥ・トビ

かったのですが、二年目の後半に入り、営業努力と商品改良の成果が実り、月平均二百万円の受注がとれるようになりました。その商品とは、車載用セラミック脱臭器「クリネオ」(II写真)です。ホンダクリオやホンダバベルの系列で販売していますが、リピーターが増え、現在は品薄と

社長の山本勉さんは、「一社では力が弱いので、新商品の開発・販売という共通の目標に取り組みすることで、二十一世紀に通用する力が加盟企業についてきます。全国の同友会の皆さん、商品化の相談を投げかけてください。開発、生産、営業をコーディネートさせていただきます」と力強く語っています。

しており、ゴキブリ対策の効果テストを、九州大学の研究室ですすめており、新しい商品づくりの試みも余念がありません。

「クリネオ」の商品化には、原料の提供から部品の加工、マイコン機器の設計、総合組立、カタログの企画、そして営業まで、一つひとつを十一社が分担しています。

## 商品開発

を開発したと発表した。

直径二五〇mmの砥石で研削最高速度は毎秒二〇mと世界最速を実現。荒仕上げから最終まで一台で研削加工できる国産機は初めて。荒仕上げ用のCBN砥石と仕上げ用のCBN砥石を取り付け、自動ソフトし、ワゴンチャックで仕上げる。

研削最大径は二〇〇mm、砥石は直径二八〇×長さ二〇〇mmまで取り付け可能。本体寸法は、長さ五一七〇×幅四三八〇×高さ二六五〇mm。四月中旬にライン生産を開始し、年間三万台の販売を見込んでいる。価格は一億三千万円。

(日刊工業新聞3月29日)

会員☎〇三二五七〇七一(六七一一)を通して販売する。

医療機器以外の機器を患者から半径一・八m以内で使う場合、漏れ電流、絶縁耐圧の規制があり、単独で持ち込めない。この条件で使うには、この新製品の電源が必要という。欧米への輸出ではとくに規制が厳しく、国内でも医療現場への情報技術機器の普及に伴い、需要が増加するとみられている。使用電圧・電力によって六機種、価格は三万六千〜五万円。

医療機器用変圧器メーカーの東亜電子(株)では、一年以上かけて欧米の医用安全規格を取得。その

接、消費電力を調べる装置を開発する。手軽に持ち運べる携帯型で、省エネ競争が激しい電子機器の測定が簡単になる。

装置は電線を差し込む計測部と、データを演算する本体で構成。本体には小型バッテリーを搭載し、一回の充電で七十二時間利用できるようにする。

これまで電線から消費電力を調べる場合、絶縁物質のゴムカバーを剥がす必要があったが、新技術により、ゴムカバーの上から測定できるようになる。すでに試作品は完成しており、五月をめどに商品化する。

(神戸新聞1月18日)